

山道川上流

みどり
水土里ネット

広報No.10

(迫川上流土地改良区)

平成29年12月1日発行

ごあいさつ

迫川上流土地改良区

すがわら よしゆき
理事長 菅原 義幸



組合員皆様におかれましては、ご健勝のこととご推察申し上げます。また、日頃より当土地改良区運営、事業推進に対しましてご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

今年、迫川上流土地改良区設立9年目を迎え役員、総代の任期満了による改選があり、私、理事長に選任された菅原義幸と申します。また、役員他就任された方々をこの広報にてご紹介致しておりますので、ご覧いただき、よろしくお願ひ致します。

長年にわたり引き継がれてきた、日本の純農村風景、山から川へ、川から水田への悠久的な水の流れ、田面に水が張られ、早苗が植えられ、緑の絨毯となり、秋には黄金色に輝き、稲穂が首を垂れる風景、豊かな自然、地域資源を次世代へと、繋いで行く事が土地改良区の役目ではないかと感じております。

今年、春先からの好天に恵まれ、秋の収穫に期待をしておりましたが、8月の記録的な長雨、低温、日照時間が平年の三分の一と農作物の生育には厳しい状況下にあったものの、地域、品

種にばらつきはありますが作況指数100と平年作に安堵しているところです。

さて、当土地改良区で推進している事業ですが、現在進行中のほ場整備事業は、今年度から面工事が始まる沼田・八木地区、更に大目地区、稲屋敷・袋地区、上沼地区、津久毛地区、上畑岡地区と概算で面積920ha、組合員数1,000人程で順調に計画が進んでおります。活力溢れるしなやかな農業農村のモデルを呈示する事が組織を挙げた責務と、水土里ネットみやぎを通じて、問題を共有しながら必要な予算確保に向けて要請運動を展開しているところです。

また、当管内の農業水利施設は、経年劣化に伴い老朽化が進んできており、市民生活にも関わる防災減災対策上、計画的な修繕更新に向けて施設の保全管理に努めて参ります。

さらに、迫川上流地区土地改良区統合整備ですが、真坂土地改良区との吸収合併に向けて、5月に推進協議会が設立され平成30年11月末を目途に計画が進行中です。

結びに、年々厳しい農業情勢となつてきておりますが組合員の附託に応えられますよう、役員一丸となつて頑張つて参りますので、特段のご理解とご協力をお願い申し上げます。

まもなく、新年を迎えようとしております。皆様方の益々のご発展、ご繁栄とご多幸をお祈り申し上げます、挨拶と致します。

主な内容

- 新役員・新総代紹介……………2～3
- 第21回総代会提出議案……………4
- 平成28年度財務状況……………5～6
- 平成28年度財産目録……………6
- 平成28年度事業報告……………7～9
- 平成29年度事業計画……………9
- 国営造成施設管理体制整備促進事業…10～11
- 事業推進員紹介……………12～13
- 視察研修会開催……………14
- 改良区からのお願いとお知らせ…15～20

●発行・編集／水土里ネット迫川上流（迫川上流土地改良区） ●印刷／有限会社及川印刷
●所在地／〒989-5171 宮城県栗原市金成沢辺町沖205番地
●TEL／0228(24)7643 ●FAX／0228(42)3503
●組合員数／7,415名 ●地区面積／10,282ha（平成29年3月31日現在）
●E-Mail／jouryu@hakuue.jp ●ホームページ／http://www.hakuue.jp



新 役 員 紹 介

役員任期満了に伴い、平成 29 年 1 月 24 日開催の第 19 回総代会において執行された役員総選挙の結果、理事 20 名、監事 3 名の当選人が決定し、平成 29 年 3 月 11 日に就任されましたのでご紹介いたします。(敬称略)

【任 期】 平成 29 年 3 月 11 日 ～ 平成 33 年 3 月 10 日

役職名	氏 名	地 区
理 事 長	菅 原 義 幸	栗 原 市 栗 駒
副 理 事 長	小 野 寺 和 夫	登 米 市 石 越 町
理 事	二 階 堂 紀 一	登 米 市 石 越 町
理 事	加 藤 忠 良	栗 原 市 志 波 姫
理 事	佐 藤 弘 毅	栗 原 市 志 波 姫
理 事	阿 部 忠 巳	栗 原 市 栗 駒
理 事	金 野 勤	栗 原 市 若 柳
理 事	齋 藤 政 憲	栗 原 市 一 迫
理 事	佐 々 木 和 男	栗 原 市 鷲 沢
理 事	菅 原 正 一	栗 原 市 志 波 姫
理 事	阿 部 正 一	栗 原 市 金 成
理 事	菅 原 進	栗 原 市 若 柳

役職名	氏 名	地 区
理 事	小 山 智 正	栗 原 市 一 迫
理 事	佐 藤 常 義	栗 原 市 栗 駒
理 事	千 葉 清 太 郎	栗 原 市 若 柳
理 事	高 橋 道 男	栗 原 市 築 館
理 事	佐 々 木 剛	栗 原 市 若 柳
理 事	千 葉 丈 夫	登 米 市 石 越 町
理 事	佐 々 木 健 悦	栗 原 市 金 成
理 事	高 橋 義 雄	栗 原 市 一 迫
総 括 監 事	濁 沼 栄 一	栗 原 市 栗 駒
監 事	伊 藤 久	栗 原 市 築 館
監 事	佐 々 木 正 志	栗 原 市 栗 駒

新 総 代 紹 介

任期満了に伴う総代選挙は平成 29 年 2 月 7 日に執行され、各選挙区定数の立候補者で合計 90 名が無投票当選となり、平成 29 年 2 月 24 日に就任されましたのでご紹介いたします。(敬称略)

【任 期】 平成 29 年 2 月 24 日 ～ 平成 33 年 2 月 23 日

■ 第 1 選挙区 (11名)

氏 名	地 区
高 橋 貞 美	登 米 市 中 田 町
千 葉 徹 哉	登 米 市 石 越 町
千 葉 登 志 夫	栗 原 市 若 柳
及 川 文 男	登 米 市 石 越 町
阿 部 光 夫	登 米 市 石 越 町
千 葉 雅 之	登 米 市 石 越 町
千 葉 勝 雄	登 米 市 石 越 町
佐 藤 明 広	登 米 市 石 越 町
山 本 信 好	登 米 市 石 越 町
土 生 浩 也	登 米 市 石 越 町
菅 原 仁	登 米 市 石 越 町

■ 第 2 選挙区 (7名)

氏 名	地 区
遊 佐 弘	栗 原 市 栗 駒
菅 原 一 郎	栗 原 市 栗 駒
菅 原 敏 治	栗 原 市 栗 駒
佐 藤 紀 行	栗 原 市 栗 駒
齋 藤 房 郎	栗 原 市 栗 駒
菅 原 正 利	栗 原 市 栗 駒
白 田 俊 和	栗 原 市 栗 駒

■ 第 3 選挙区 (8名)

氏 名	地 区
鈴 木 英 悦	栗 原 市 金 成
佐 々 木 昭 則	栗 原 市 金 成
金 野 和 雄	栗 原 市 金 成
佐 々 木 文 敏	栗 原 市 金 成
菅 原 金 幸	栗 原 市 金 成
高 橋 謙 一	栗 原 市 金 成
鈴 木 勲 夫	栗 原 市 金 成
菊 地 勇 喜	栗 原 市 金 成

■第4選挙区（9名）

氏名	地区
及川 明	栗原市若柳
三浦 諭	栗原市若柳
佐藤 和夫	栗原市若柳
菅原文 男	栗原市若柳
佐々木 信次	栗原市若柳
菅原 義博	栗原市若柳
佐藤 典久	栗原市若柳
佐々木 徳吉	栗原市若柳
小野寺 信男	栗原市若柳

■第5選挙区（11名）

氏名	地区
尾崎 和弘	栗原市一迫
佐藤 孝幸	栗原市一迫
狩野 豊	栗原市一迫
内藤 修	栗原市一迫
三浦 常彦	栗原市一迫
狩野 吉行	栗原市一迫
佐藤 義弘	栗原市一迫
佐藤 博昭	栗原市一迫
曾根 淳	栗原市一迫
松田 輝男	栗原市一迫
小山 修一	栗原市一迫

■第6選挙区（6名）

氏名	地区
氏家 優一	栗原市築館
高橋 功悦	栗原市築館
高橋 涉	栗原市築館
佐藤 弘	栗原市築館
佐藤 文啓	栗原市築館
曾根 金雄	栗原市築館

■第7選挙区（14名）

氏名	地区
草刈 昭夫	栗原市志波姫
黄海 啓一	栗原市若柳
佐々木 近	栗原市志波姫
堀越 勝則	栗原市志波姫
小野寺 源清	栗原市志波姫
千葉 清勝	栗原市志波姫
二階堂 秀雄	栗原市志波姫
三浦 晃	栗原市志波姫
榊原 彰	栗原市志波姫
氏家 哲	栗原市志波姫
狩野 昌之	栗原市若柳
相馬 宏	栗原市志波姫
堀江 栄	栗原市志波姫
小岩 仁	栗原市志波姫

■第8選挙区（9名）

氏名	地区
菅原 久	栗原市若柳
佐々木 一裕	栗原市若柳
佐藤 美治	栗原市若柳
藤原 英明	栗原市若柳
菅原 公喜	栗原市若柳
瀬戸 敬一	栗原市若柳
村井 勝幸	栗原市若柳
佐藤 正弘	栗原市若柳
佐藤 昭一	栗原市若柳

■第9選挙区（6名）

氏名	地区
菅原 徹	栗原市栗駒
三塚 保	栗原市鶯沢
高橋 宗夫	栗原市鶯沢
小野寺 徳郎	栗原市鶯沢
後藤 吉一	栗原市鶯沢
千葉 巧	栗原市栗駒

■第10選挙区（9名）

氏名	地区
千葉 俊徳	栗原市栗駒
氏家 功	栗原市栗駒
千田 覺司	栗原市栗駒
菊地 徳行	栗原市栗駒
菊地 久人	栗原市栗駒
遠藤 盛樹	栗原市栗駒
鈴木 岩男	栗原市築館
浅野 栄	栗原市栗駒
狩野 敬	栗原市栗駒

平成29年2月7日執行
迫川上流土地改良区総代選挙
当選証書付与式



平成29年2月8日、栗原市金成総合支所2階『ほたるホール』において、当選された総代90名一人ひとりに栗原市選挙管理委員会の長谷川翼委員長より、当選証書が付与されました。

第21回総代会開催

平成 29 年 10 月 17 日 (火) 午前 10 時から第 21 回総代会が栗原市若柳「ドリーム・パル」において開催されました。

総代 90 名中 62 名出席のもと、来賓に栗原市若柳総合支所より相馬益夫総合支所長並びに栗原市産業経済部より熊谷武浩農村整備課長の出席を頂き、議長には栗原市若柳地区の佐藤美治氏が選出され、執行部から提案された 47 案件の議案内容が慎重審議され、全て原案通り承認可決されました。



【理事長挨拶】



【佐藤美治 議長(若柳地区)】



【採決の様子】

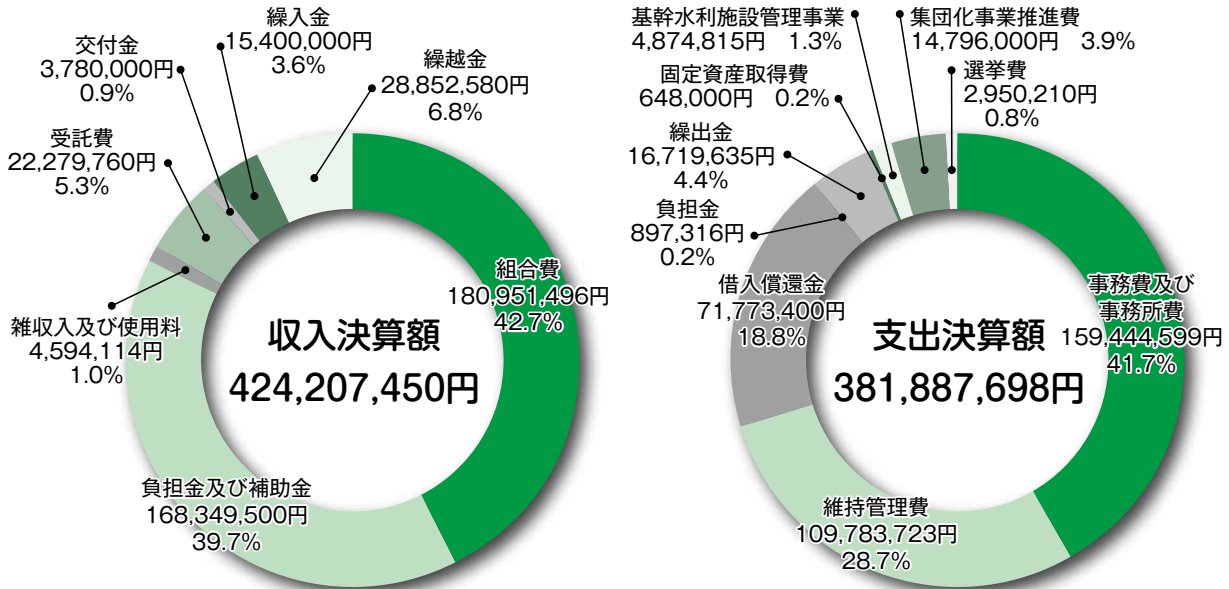
第二十一回総代会提出議案

議案第一号	平成二十八年年度 事業報告の承認について
議案第二号	平成二十八年年度 一般会計収入支出決算の承認について
議案第三号	平成二十八年年度 石越特別会計収入支出決算の承認について
議案第四号	平成二十八年年度 金生地区維持管理特別会計収入支出決算の承認について
議案第五号	平成二十八年年度 沢辺地区維持管理特別会計収入支出決算の承認について
議案第六号	平成二十八年年度 償還金積立特別会計収入支出決算の承認について
議案第七号	平成二十八年年度 宮野地区維持管理特別会計収入支出決算の承認について
議案第八号	平成二十八年年度 下畑岡地区維持管理特別会計収入支出決算の承認について
議案第九号	平成二十八年年度 尾松第一地区維持管理特別会計収入支出決算の承認について
議案第十号	平成二十八年年度 尾松第二地区維持管理特別会計収入支出決算の承認について
議案第十一号	平成二十八年年度 栗原地区維持管理特別会計収入支出決算の承認について
議案第十二号	平成二十八年年度 荒砥沢発電所特別会計収入支出決算の承認について
議案第十三号	平成二十八年年度 栗原地区維持管理特別会計収入支出決算の承認について
議案第十四号	平成二十八年年度 職員退職給与積立特別会計収入支出決算の承認について
議案第十五号	平成二十八年年度 決済金積立特別会計収入支出決算の承認について
議案第十六号	平成二十八年年度 栗原沖富地区は場整備事業特別会計収入支出決算の承認について
議案第十七号	平成二十八年年度 栗原沖富地区は場整備事業特別会計収入支出決算の承認について
議案第十八号	平成二十八年年度 新田地区維持管理特別会計収入支出決算の承認について
議案第十九号	平成二十八年年度 杭ヶ浦地区維持管理特別会計収入支出決算の承認について
議案第二十号	平成二十八年年度 西向特別会計収入支出決算の承認について
議案第二十一号	平成二十八年年度 沼田・八木地区農業競争力強化基盤整備事業特別会計収入支出決算の承認について
議案第二十二号	平成二十八年年度 沼田・八木地区農業競争力強化基盤整備事業特別会計収入支出決算の承認について
議案第二十三号	平成二十八年年度 財産目録の承認について
監査報告	
議案第二十四号	県管かんがい排水事業石越南部地区土地改良財産の譲与について
議案第二十五号	平成二十九年年度 委員会規程の一部変更について
議案第二十六号	平成二十九年年度 大目地区農業競争力強化基盤整備事業長期借入金借入れの一部変更について
議案第二十七号	平成二十九年年度 財政調整積立金の一部取崩について
議案第二十八号	平成二十九年年度 一般会計収入支出補正予算について
議案第二十九号	平成二十九年年度 石越特別会計収入支出補正予算について
議案第三十号	平成二十九年年度 金生地区維持管理特別会計収入支出補正予算について
議案第三十一号	平成二十九年年度 沢辺地区維持管理特別会計収入支出補正予算について
議案第三十二号	平成二十九年年度 償還金積立特別会計収入支出補正予算について
議案第三十三号	平成二十九年年度 宮野地区維持管理特別会計収入支出補正予算について
議案第三十四号	平成二十九年年度 下畑岡地区維持管理特別会計収入支出補正予算について
議案第三十五号	平成二十九年年度 尾松第一地区維持管理特別会計収入支出補正予算について
議案第三十六号	平成二十九年年度 尾松第二地区維持管理特別会計収入支出補正予算について
議案第三十七号	平成二十九年年度 栗原地区維持管理特別会計収入支出補正予算について
議案第三十八号	平成二十九年年度 荒砥沢発電所特別会計収入支出補正予算について
議案第三十九号	平成二十九年年度 栗原地区維持管理特別会計収入支出補正予算について
議案第四十号	平成二十九年年度 決済金積立特別会計収入支出補正予算について
議案第四十一号	平成二十九年年度 栗原沖富地区は場整備事業特別会計収入支出補正予算について
議案第四十二号	平成二十九年年度 栗原沖富地区は場整備事業特別会計収入支出補正予算について
議案第四十三号	平成二十九年年度 新田地区維持管理特別会計収入支出補正予算について
議案第四十四号	平成二十九年年度 杭ヶ浦地区維持管理特別会計収入支出補正予算について
議案第四十五号	平成二十九年年度 西向特別会計収入支出補正予算について
議案第四十六号	平成二十九年年度 沼田・八木地区農業競争力強化基盤整備事業特別会計収入支出補正予算について
議案第四十七号	平成二十九年年度 大目地区農業競争力強化基盤整備事業特別会計収入支出補正予算について

平成 28 年度 財務 状 況

迫川上流土地改良区規約第 47 条の規定に基づき平成 28 年度の財務状況を公表いたします。

【一般会計】



繰越額
42,319,752円

【その他特別会計】

(単位：円)

項目	会計名	地区別							
		石越	金生地区 維持管理	沢辺地区 維持管理	宮野地区 維持管理	下畑岡地区 維持管理	冲富地区 区	西向	沼田・八木地区 農業競争力強化基盤
収入決算額	組合費	86,861,542	3,339,573	1,487,328	1,303,751	8,932,208	2,852,134	4,420,923	566,559
	補助金	1,240,000					4,400,000		1,000,000
	受託費	3,837,900					2,500,000		6,800,760
	負担金							1,169,313	150,000
	雑収入及び使用料	4,078,562	44	16	208,953	89	45,303	21,786	5
	区債及び借入金						1,574,000		23,925,000
	一時利用地収益徴収金						242,255		
	繰入金	4,019,712	640,000	160,000	2,200,063	1,420,000			
	繰越金	6,050,953	2,261,920	635,701	760,273	3,442,821	2,260,086	1,597,639	
	合計	106,088,669	6,241,537	2,283,045	4,473,040	13,795,118	13,873,778	7,209,661	32,442,324
支出決算額	事務費	32,097			38,688	19,280	5,363,287		185,845
	維持管理費	48,025,861	3,137,039	899,796	3,058,634	10,849,216	204,903	90,450	
	借入償還金	46,802,475					1,623,000	5,470,000	
	分担金及び負担金	150,000					1,574,000		23,925,000
	換地業務費						2,715,883		6,897,666
	農業経営高度化支援事業推進費								1,000,000
	積立金	3,000,000				223,000			
	一時利用地収益交付金						242,255		
	予備費	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	98,010,433	3,137,039	899,796	3,097,322	11,091,496	11,723,328	5,560,450	32,008,511
翌年度へ繰越し	8,078,236	3,104,498	1,383,249	1,375,718	2,703,622	2,150,450	1,649,211	433,813	



【その他特別会計】

(単位：円)

会計名		尾松第1地区 維持管理	尾松第2地区 維持管理	渡丸地区 維持管理	栗原地区 維持管理	新田地区 維持管理	杭ヶ浦地区 維持管理	荒砥 電 沢 所
収入 決算 額	組 合 費		463,355	1,625,845		2,396,436	1,818,990	
	発 電 収 入							71,982,170
	雑 収 入	6,263	53	24,022	12,120	15,772	100	15,539
	繰 入 金						260,000	
	繰 越 金	2,308,512	1,101,688	1,176,151	1,850,580	1,666,494	589,253	9,035,650
	合 計	2,314,775	1,565,096	2,826,018	1,862,700	4,078,702	2,668,343	81,033,359
支出 決算 額	事 務 費	14,000	16,160	24,012	21,000			1,811,420
	維 持 管 理 費	0	773,638	1,391,660	176,040	2,762,045	1,059,396	22,886,234
	積 立 金			500,000			252,000	15,000,000
	予 備 費	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	14,000	789,798	1,915,672	197,040	2,762,045	1,311,396	39,697,654
翌年度へ繰越し		2,300,775	775,298	910,346	1,665,660	1,316,657	1,356,947	41,335,705

(単位：円)

会計名		償 還 金 積 立	決 済 金 積 立	沖 富 地 区 ほ 預 り 金	職 員 与 退 積 立	国 営 施 設 補 償 金
収入 決算 額	積 立 金 収 入	9,646,975				
	決 済 金		684,248			
	雑 収 入	65	21	75,702	16,888	6
	繰 入 金				10,429,635	
	繰 越 金	8,900,154	1,158,164	177,515,911	117,698,551	464,299
合 計	18,547,194	1,842,433	177,591,613	128,145,074	464,305	
支出 決算 額	繰 出 金	8,500,000	1,109,712			
	退 職 金				6,524,448	
	補 償 金					11,410
	予 備 費	0	0	0	0	0
合 計	8,500,000	1,109,712	0	6,524,448	11,410	
翌年度へ繰越し		10,047,194	732,721	177,591,613	121,620,626	452,895

平成 28 年度 財 産 目 録

【資産の部】

(単位：円)

項 目	金 額
1. 流動資産	182,840,223
① 現金及び預金	112,859,937
② 未収賦課金	3,715,766
③ 短期未収金	66,264,520
2. 固定資産	66,118,384
① 有形固定資産	63,778,180
② 無形固定資産	2,340,204
3. その他固定資産	595,742,920
① 基本財産	279,914,155
② 特定資産	315,828,765
資 産 合 計	844,701,527

【負債の部】

(単位：円)

項 目	金 額
1. 流動負債	58,433,400
① 未払金	58,433,400
2. 固定負債	670,103,222
(1) 公庫資金等長期借入金	639,139,172
① 県営かんがい排水事業費借入金 3事業地区分	454,880,991
② 県営ほ場整備事業費借入金 6事業地区分	182,872,301
③ 団体営かんがい排水事業費借入金 1事業地区分	1,385,880
(2) その他の長期借入金	30,964,050
① 県営かんがい排水事業費借入金 2事業地区分	26,523,869
② 団体営かんがい排水事業費借入金 1事業地区分	560,181
③ 平準化資金借入金 1事業地区分	3,880,000
負 債 合 計	728,536,622



平成 28 年度 事業報告

第 1. 組合員及び地区面積

組合員数 7,415 名

地区面積 102,821,424.15㎡

第 2. 事業の状況

1 施設維持管理の状況

●土地改良施設維持管理適正化事業

工 事 名	事 業 費	工 事 場 所	工 事 内 容
軽辺用水路(有賀除塵機)整備補修工事	4,212,000 円	栗原市若柳地内	除塵機塗装及び整備
有賀除塵機減速機他交換工事	550,800 円	栗原市若柳地内	ライタックス減速機、ベアリングユニット、ベアリングユニット(鋳物カバー付き) 交換
実施設計書作成業務	172,800 円	上記地区	設計業務
合 計	4,935,600 円		

土地改良施設維持管理適正化事業とは、ポンプ、モーターのオーバーホール、ゲート等の塗装、機械等の部品の取り替えなど、数年に一度行う施設の整備補修に要する経費に対し助成される事業で、一般的な補助事業と異なる点は、事前に事業に加入し整備補修に必要な費用の一定額を、拠出金として毎年全国土地改良事業団体連合会に拠出することで、土地改良区が助成を受ける制度です。

軽辺用水路(有賀除塵機)整備補修工事



有賀除塵機減速機他交換工事



●維持管理の状況

地 区	維 持 管 理 の 内 容	金 額	附 記
登米市石越町地内 外	上新田揚水機場整備補修工事 外 251 件	96,958,790 円	県営造成施設 外



取水ゲート補修



水中ポンプ更新



漏水補修



用水路目地補修



用水路高上げ



除塵機補修

ご迷惑をお掛け致します

改良区発注の工事では、左のような看板を設置しております。工事現場には、重機・トラック等が頻繁に出入りし大変危険ですので、近つかないようご協力をお願いします。

追川上流土地改良区発注の工事を行っておりますが、ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

2 工事の施行状況

●本年度団体営事業の概要

農業基盤整備促進事業

工 事 名	事 業 費	工 事 場 所	工 事 内 容
迫川上流(4)外1地区 区画拡大・暗渠排水工事	53,676,000 円	栗原市一迫地内 外	(1)区画拡大 A= 6.2ha、暗渠排水 A=2.0ha (4)暗渠排水 A=33.0ha(6.4ha+26.6ha)
実施設計書作成業務	3,299,400 円	上記地区	測量設計業務
合 計	56,975,400 円		

※平成 28 年度内で工事完成が出来なかったため、設計業務及び工事を平成 29 年度に繰越をしました。

区画拡大・暗渠排水工事

【 施 工 状 況 】



－ 均平 －



－ 畦畔撤去 －



－ 反転耕起 －



3 県営事業の進捗状況

県 営 事 業 名	事 業 費	工事場所	工 事 内 容	進 捗 率
農村地域防災減災事業沖富地区	78,700,000 円	栗原市地内	補完工事 一式	100.0%
農業競争力強化基盤整備事業沼田・八木地区	319,000,000 円	栗原市地内	区画整理 A=17.0ha	31.1%
合 計	397,700,000 円			

第3. 事務の経過

●会議の件数

会 議 名	件 数	会 議 名	件 数	会 議 名	件 数
総 代 会	3 回	監 事 会	4 回	総務委員会	1 回
理 事 会	13 回	監 査 会	2 回	その他委員会・会議	137 回

第4. 経理の状況

●施設維持管理の状況

会 計 名	維持管理経費	附 記
一般会計	114,658,538 円	国営施設管理費、県営施設管理費、末端施設管理費 外
外 13 特別会計	95,314,912 円	水路工事・施設管理費、施設電気料 外

●借入金

地区	種別	借入先	借入年月日	利率	借入金総額	償還期限	当年度償還額	未償還額
沼田・八木地区	農業基盤整備資金	日本政策金融公庫 (仙台支店)	H29.3.29	0.45%	3,988,000円	H49.1.10	0円	3,988,000円
	担い手育成農地集積資金			-	19,937,000円		0円	19,937,000円
沖富地区	農業基盤整備資金	日本政策金融公庫 (仙台支店)	H29.3.29	0.45%	1,574,000円	H42.1.10	0円	1,574,000円

●一時借入金 なし

●賦課金の納入状況 (平成29年5月31日現在)

項目	調定額	徴収額	未納額	徴収率
一般会計 外12会計	経常賦課金	188,027,409円	185,893,383円	98.9%
	事業費賦課金	112,708,497円	111,126,757円	98.6%
合計	300,735,906円	297,020,140円	3,715,766円	98.8%

平成29年度事業計画

■土地改良施設維持管理適正化事業

本年度は3施設で事業費合計 20,364千円の適正化事業が施行されます。事業の実施予定時期は11月～3月となっており、施行施設及び事業内容については次のとおりです。

施設名	寺山揚水機場	畑岡揚水機場	熊川揚水機場
	登米市石越町北郷字新東地内	栗原市若柳字上畑岡新大立前491地先	栗原市金成姉齒字角屋敷前29番1地先
現況写真			
工事内容	φ200mm×11kw 水中ポンプ整備補修 付帯設備整備補修 (水位計、スクリーン等) 電気設備整備補修 (操作盤)	φ500mm 縦軸斜流ポンプ整備補修 75kw モーター整備補修 電気設備整備補修 (操作盤)	φ350mm×22kw 水中ポンプ整備補修 電気設備整備補修 (操作盤)

■農業基盤整備促進事業

この事業は、農家の経営規模の拡大や農作物の高付加価値化・品質向上等を目的に、整備済みの農地区画の拡大や暗渠管設置といった簡易な農地整備に助成する事業です。当改良区では下記の工事を施行します。

工事名	施行場所	施行面積
迫川上流(4)外1地区 区画拡大・暗渠排水工事	栗原市一迫地内 外	(1)区画拡大 A = 6.2 ha 暗渠排水 A = 2.0 ha (4)暗渠排水 A = 33.0 ha (6.4 ha + 26.6 ha)

※平成28年度からの繰越工事となります。



国営造成施設管理体制整備促進事業(管理体制整備型)

都道府県と市町村が連携を図り、国営造成施設又はこれと一体不可分な国営附帯県営造成施設を管理する土地改良区等を対象として、管理体制整備計画の更新及び管理体制整備の推進活動、管理体制の整備・強化に対する支援の実施を通じて、多面的機能の発揮及び環境への配慮、安全管理の強化、地域防災、水管理の担い手の育成・確保に対応した管理体制の整備を図ることを目的とした事業です。

『花いっぱい運動』開催



『水土里ネット』とは…



さあ、どうなるかなあ〜?



3年生と7年生の共同作業



地域の方との共同作業

毎年恒例となった、『花いっぱい運動』が今年も栗原市立金成小中学校において開催されました。

当日は、梅雨入りしたばかりというのに真夏のような日差しが照り付け、学校を取り囲む林からは蝉の声も聞こえる中、迫川上流地区管理体制整備推進協議会主催で、関係機関である宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所、宮城県土地改良事業団体連合会、栗原市を迎え、小中学校の3年生・7年生(中学1年)と地域の方々を含め、総勢141名での作業となりました。

開会式では「水土里ネットについて」の講話を聴き、植栽前には、グリーンアドバイザーの佐藤千恵さんから植栽に当たっての注意点を、実演を交え解り易く説明してもらってから、用意した 218個のプランターに、ペゴニア・サルビア・マリーゴールドなど、色とりどりの花をみんなで力を合わせて植栽し、「川にゴミをすてないでね。」や「川をきれいにしよう。」など、生徒たちが思いを入れて書いたメッセージカードを添えて完成させました。

完成したプランターは、学校の入口を流れる水路沿いに並べ、参加者全員で記念撮影したあと、地域を流れる軽辺用水路沿いにも設置しました。



平成29年6月28日開催『花いっぱい運動』



軽辺用水路沿いに設置

2017 栗原市民まつりに出展

イオンスーパーセンター栗原志波姫店を会場に開催された『栗原市民まつり』に今年も出展しました。

“農業水利施設の多面的機能の紹介”と題して、パネル展示やパンフレット配布、そして簡単なクイズをしながら、農業水利施設は田んぼに水を届けるだけではなく、防災や生活環境の保全など、私たちの生活を支えているさまざまな働きについて紹介しました。

ブースの一角には宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所も参加して、栗原市内のほ場整備事業状況のパネル展示や、知る人ぞ知る“ダムカード”の配布及び「栗原 NN 通信」の PR も行いました。

天候にも恵まれ昨年を上回る来場者となり、多くの方々に農業水利施設の多面的機能を知っていただく機会となりました。



今年も大盛況!



答えはどこかな?



こんな機能もあるんだよ



これが「ダムカード」です

校外学習の実施

小田ダムで記念撮影



監査廊って涼しいんだね



ダムにはこんな機能もあるんだよ



工事大変だったんだ



頭首工って大きいなあ～



栗原市立一迫小学校の4年生を対象とし、去る8月25日に小田ダム、伊豆野せせらぎ公園を会場に校外学習を行いました。青空のもと小田ダムで行われた開会行事では、「ダムの役割」について宮城県栗原地方ダム総合事務所の職員から説明を受けたあと、ダムを背景に記念撮影。普段見ることのできない監査廊も見学できて、生徒たちは大はしゃぎでした。

伊豆野せせらぎ公園では、「伊豆野堰」の大切さや、先人たちの苦勞を紙芝居を通じて学び、実際に頭首工の近くまで行って、絵とは違う本物の雰囲気を感じながら見学しました。

～ 監査廊とは～
ダムの堤体内部に備わる管理用の通路で、完成後の監査（検査、点検、測定）やゲート操作、排水などに用いられます。

農業体験学習も応援しています!

栗原市立金成小中学校5年生
「栗原ふるさと科」



バケツ田植え

田植え風景



春に泥だらけになりながら、楽しく田植えをした稲がしっかりと実り、ようやく収穫の時期を迎えました。

春にもお手伝い頂いた地域の皆さんと一緒に、稲刈りガマで一生懸命稲刈りをして、「ほんによ」作りにも挑戦。

脱穀した稲は一升瓶で精米して、みんながいつも目にしている“米”の姿になるのを体験しました。

稲刈りの様子



精米の様子



用水施設管理ポスター入選作品紹介



最優秀賞 島岡 一樺さん

このポスターは
迫川上流地区管理体制整備推進協議会（事務局：迫川上流土地改良区）が水路への不法投棄防止に対する啓発のため募集したものです。

国営造成施設管理体制整備促進事業

「大規模災害時における相互応援に関する協定」締結

この協定は、地震、風水害その他の大規模災害が発生、又は発生するおそれがあるとき、土地改良区単独では十分な応急措置ができない場合に、円滑かつ迅速な相互協力が行われることにより、被害の軽減と農業経営の安定を図る事を目的として、迫川上流土地改良区、北上川沿岸中田地区土地改良区、河南矢本土改良区、迫川沿岸土地改良区、大崎土地改良区の5土地改良区間で締結したものです。



平成28年12月20日に行われた調印式

事業推進員紹介

平成 29 年 4 月 1 日付けで、214 名の推進員さんに委嘱状を交付致しましたのでご紹介します。
(敬称略)

【任 期】 平成 29 年 4 月 1 日 ～ 平成 33 年 3 月 31 日

■ 若柳川南地区

推進区域名	氏 名
新 山	水 野 浩 明
上 町	田 中 泰 憲
下 町 1	白 鳥 安 男
下 町 2	斎 藤 勝 二
八 木 1	三 浦 勲
八 木 2	星 清 一
川 原 1	佐 藤 直 一
川 原 2	高 橋 浩
南 二	又 高 橋 洋 一
上 大	目 菅 原 正 記
下 大	目 加 藤 茂
新 田	佐 藤 仁 一
大 畑 1	千 葉 敏
大 畑 2	瀬 戸 敬 一
峯 1	瀬 戸 和 重
峯 2	高 橋 浩 孝
内 谷 川 1	橋 平
内 谷 川 2-1	佐々木 秀 則
内 谷 川 2-2	村 井 正 明
碓 1	遠 藤 勝
二 葉	高 橋 輝 美
碓 3	千 葉 孝 一
東	佐 藤 幸 一
中 央	佐 藤 正 弘
大 原	柳 原 友 晴
敷 味	佐 藤 暢 晃

■ 一迫川沿岸一迫地区

推進区域名	氏 名
大 館	松 田 敏
竹 の 内	内 藤 修
曾 根	津 田 頼 一
本 町	鹿 野 千代司
一 迫 中 町	菅 原 恭
荒 町	堀 江 孝 夫
清 水 一	鎌 田 博 行
清 水 二	三 浦 一 良
保 呂 羽	真 山 栄 一
輝 井	曾 根 靖 義
八 幡	佐 藤 孝 人
嶋 躰	佐 藤 三 千 男

■ 一迫川沿岸一迫地区

推進区域名	氏 名
清 水 目	白 鳥 勝 朗
東 町	宮 東 良 雄
金 田 中 町	佐 藤 謙 一
新 町	千 葉 喜 幸
滝 野	伊 藤 守
川 北	安 倍 忠 男
高 橋 下	狩 野 吉 行
高 橋 上	佐 藤 公 一
荒 町 下	佐々木 哲
荒 町 上	千 葉 幸 喜

■ 一迫川沿岸築館地区

推進区域名	氏 名
上町・南町・中町	佐 藤 弘
西 町	佐 藤 弘
北町・下町・東町	欠 員
伊豆一・二・駅前	白 鳥 敬 一 郎
坂下・館下・赤坂	白 鳥 昭 男
成 田	鈴 木 孝 夫
佐 野	曾 根 金 雄
下萩沢(木戸)	小野寺 昌 昭
下萩沢(久保)	伊 藤 久
下萩沢(加倉)	曾 根 貞 一
下 照 越	櫻 田 和 英
横 須 賀	佐々木 栄 夫
秋 山	高 橋 健 一
本 木	佐々木 勝 徳
宮 野 上 町	佐 藤 輝 也
宮 野 下 町	小野寺 良 一
八 幡	竹 内 隆 行
留 場 南	佐 藤 重 喜
留 場 北	川 田 繁
花の木・大堀	高 橋 建 夫

■ 一迫川沿岸志波姫地区

推進区域名	氏 名
宮 中	白 鳥 恭 太
山 の 上	高 橋 優 秀
里	三 浦 富 孝
新 田	窪 田 愛 利
南	伊 藤 弘
北	三 浦 忠 男
上	鈴 木 慶 一
中	菅 原 元 一
下	三 浦 健 二
城 内	菅 原 敏 一
町	高 橋 昌 好
十 文 字	高 橋 勝 守
荒 町	菅 原 勝 男
橋 本	浅 沼 英 雄
熊 谷	鈴 木 常 男
大 平	飯 田 紀 一
間 海	笠 原 満

■ 一迫川沿岸若柳地区

推進区域名	氏 名
多 賀	狩 野 昌 之

■ 三迫川沿岸栗駒地区

推進区域名	氏 名
茂 庭 町	木津川 治 愛
六 日 町	菅 原 初 雄
八 日 町	佐 藤 繁 男
四 日 町	齋 藤 正 志
東 方 区	佐 藤 榮 記
下小路・上小路上	佐々木 寿 治
上 小 路 上	佐々木 昭 一
中 野 上	岡 本 正 宏
中 野 中	佐 藤 祐 一
中 野 下	佐 竹 東
猿飛来上(岩本・共栄)	菅 原 武 一
猿飛来上(山根・更正)	高 橋 忠 雄
猿飛来上(漆沢・原・毛鳥)	千 葉 茂 男
猿飛来下(長 楽 沢)	菅 原 重 義
猿飛来下(久保・大河原)	峯 岸 清
里 谷 1	佐々木 一 信
里 谷 2	佐 藤 陸 郎

■ 三迫川沿岸栗駒地区

推進区域名	氏名
深谷	五十嵐 暢 仁
鳥沢下	後藤 孝
上野	佐藤 憲 司
滝ノ原	菅原 敏 治
日照田(日照田・万代)	芳賀 次 男
馬場(西向・東向)	千葉 泰 道
三丁	菅原 照 明
若木(前田・若木)	菅原 明

■ 三迫川沿岸金成地区

推進区域名	氏名
金成東(長根・大久保)	小野寺 喜 彦
金成南(南一上・下)	鈴木 完 二
金成南(南二上・下)	菅原 聰
金成北(北一・二・三)	高橋 光 治
小迫	二階堂 勝 雄
岩崎	近藤 義 夫
平形	高橋 謙 一
大原木上	及川 博 義
大原木下	高橋 元 一
宇南	佐藤 敏 郎
沢辺上	佐藤 房 喜
沢辺下1	高橋 裕 樹
沢辺下2-1	阿部 一 朗
沢辺下2-2	千田 敬 司
下沢辺・梨崎	菅原 金 幸
姉齒上	菅原 芳 男
姉齒下	高橋 晃
小堤	高橋 洋 一

■ 三迫川沿岸若柳地区

推進区域名	氏名
新町一・二	佐々木 栄 一
北浦・中町・元町一・二・三	鎌田 和 男
片町一・二	伊藤 治 壽
並柳	及川 明
荒町・下袋	三浦 俊
十文字	千葉 勝 美
我門	岩 渕 敬 志
大林一(一区)	三浦 恒 夫
大林一(二区)	二階堂 定 行
大林二(中斉・中区)	三浦 雅 敬
大林二(要害・境)	佐々木 徳 吉
福岡(小谷町・谷地畑)	佐々木 忠
福岡(原畑・四ッ谷)	菅原 智

■ 三迫川沿岸若柳地区

推進区域名	氏名
三田鳥	柴山 善 信
有賀(浜井場)	菅原 義 人
有賀(田子谷)	菅原 義 博
上在	小野寺 悦 朗
町館(一・二)	伊藤 誠
町館(三・四)	菅原 富 夫
下在	佐藤 和 夫
大袋(一・二)	鈴木 功
大袋(三・四)	渡邊 正 志

■ 三迫川沿岸花泉地区

推進区域名	氏名
油島	佐々木 東 吾

■ 二迫川沿岸栗駒地区

推進区域名	氏名
荒砥沢・新田	小野寺 典 吉
角ヶ崎	小山 正 巳
川東	菅原 徹
川西	加藤 淳
中文字	四ノ宮 博
下文字	千葉 巧
高松	千葉 俊 徳
清水田	阿部 繁 喜
宝領(第一・二・三)	佐藤 浩
宝領(牡丹・森・愛宕)	佐藤 勝 博
大鳥西	渋谷 伸 一
大鳥中	木村 正 明
大鳥東	狩野 敬
八幡上	佐藤 幸 雄
八幡下	小野寺 金 久
桜田上(山神)	狩野 拓
桜田上(殿田替・伊治城)	遠藤 盛 樹
桜田下(下館)	伊藤 永 二
桜田下(定官寺)	三浦 覚
菱沼(根岸)	氏家 功
菱沼(菱沼沖)、栗原沖	浅野 栄
栗原根岸(栗原西)	村上 政 嗣
栗原根岸(栗原東)	佐藤 信 義
渡丸・芋峠	泉田 次 雄
泉沢	岩 渕 信 道
片子沢	佐藤 仁 悦

■ 二迫川沿岸鷺沢地区

推進区域名	氏名
秋法、駒場(第一、二、三、四)	三塚 保
八沢(第一、二)	菅原 勉
堰根(第一)	後藤 秀 雄
堰根(第二)	高橋 陸 男
日向(第一)	高橋 功
日向(第二、三)	小野寺 徳 郎
袋(第一)	氏家 典 次
袋(第二)	佐々木 進
袋(第三)	小野 良 夫

■ 二迫川沿岸築館地区

推進区域名	氏名
沖富	菅原 節 郎
黒瀬	佐藤 孝 良
根岸	菅原 昭 一

■ 石越町石越地区

推進区域名	氏名
遠沢	佐々木 君 明
第一	阿部 光 夫
長根	土生 浩 也
第二	佐々木 孝 也
洪川	松浦 恒 夫
西久保・明神崖	千葉 勝 雄
前久保	千葉 浩 晃
峯	佐藤 正 四
仙天	佐藤 正 四
新道	金野 哲
駅前	佐藤 泰
赤谷	高橋 正 一
寺山	菅原 照
第七	飯塚 希 一
第八	千葉 徹 哉
第九	熊谷 一 男
第十	千葉 秀 行
第十一	阿部 敏 昭
第十二	佐藤 富 夫
第十三	佐藤 明 広
口梨	及川 貞 義
上新田	三浦 順 幸
芦倉	稲 辺 秀 隆
海上連	千葉 善 文

■ 石越町若柳地区

推進区域名	氏名
二股	小野寺 義 幸

各地区の推進員さんが、改良区の事業運営等で組合員皆さんの自宅にお伺いすることがありますので、その際はご協力下さいますようお願い申し上げます。

視 察 研 修

ジャイカ JICA〔(独)国際協力機構〕研修員視察 平成29年6月14日 来所



改良区事務所



新山揚水機場



沖富調整池



荒砥沢ダム管理事務所

“2016 年度課題別研修「統合的水管理に基づくかんがい排水技術」コース”の研修員 11 名と通訳を兼ねた（一社）海外農業開発コンサルタント協会の 2 名が来所し研修を行いました。

この研修は、急速な人口増加による食糧不足は世界の課題として深刻さを増しつつある中、水不足は発展途上国における農業生産の重要な制限要因の一つであり、かんがい排水は持続的農業の基盤かつ生産の安定と土地生産性の向上に必要な役割を果たすことが期待されており、こうした背景から統合的水管理の理念に基づき、対象国のかんがい排水施設の研究・設計・運営・維持のための人間開発に貢献することを志向し、それぞれの国の農業の適正な改善に、かんがい排水技術の知識・技能の獲得・拡張・適用を通して貢献することが期待される、若手技術者に提供される研修です。

当改良区での研修では、事務所において「土地改良区の概要」を説明したあと、新山揚水機場、沖富調整池、荒砥沢発電所、伊豆野頭首工、小田ダムの現地視察を行いました。

各施設において積極的に技術的及び経済的な質問があり、職員が通訳を通して丁寧に説明しました。なかには予期せぬ質問や、かなり踏み込んだ内容の質問もあり対応した職員も驚くほどでした。



荒砥沢発電所



伊豆野頭首工



小田ダム

小水力発電先進地視察研修

～ 青森県奥入瀬川南岸土地改良区の皆さん ～



平成29年7月19日研修の様子



小水力発電導入に伴い、農業水利施設を活用した小水力発電について、理事長をはじめ総代、職員の計30名が来所し研修及び現地視察を行いました。

荒砥沢ダム管理事務所にて行われた研修では、当改良区の概要及び荒砥沢発電所の概要、維持管理状況等について鈴木事業管理課長より説明し、稼働中の発電所内を視察しました。

役員施設見学研修会の実施

当改良区の役員改選に伴い、理事会等で提案され今回実現したものです。

内容としては、国営・県営事業で造成された施設及びダム等の主要27施設を、資料を基に職員の概要説明を聞きながら現地視察を行いました。

途中、天候により予定していた行程を一部変更しての研修となりましたが、約一日をかけて実施した今回の研修は有意義なものとなりました。



軽辺頭首工



荒砥沢発電所



沖富調整池



中央管理事務所

改良区からのお願いとお知らせ

■ 賦課金納入は納期内に ■

賦課金は賦課基準日（毎年5月1日現在）の土地原簿記載地積により賦課させて頂いています。賦課金納入通知書には当該年度に納めて頂く賦課金合計額が記載され、その内訳が期別・賦課基準別に記載してあります。また、全ての賦課種別・賦課金単価も記載しておりますので参考にして頂きたいと思います。

納付書は、前期分と後期分を同時に発行しており、**現金で納入される方は前期分と後期分を一括で納入することも可能**です。

なお、賦課金は納期限が過ぎますと、過怠金として督促手数料及び延滞金（年14.6%）が納期限翌日から日々加算されますので、期限内に納入くださいますようお願い致します。

賦課金の納入は便利な口座振替をご利用下さい

手続き方法

J A窓口（J A栗っこ各支店、J Aみやぎ登米各支店、J Aいわて平泉花泉支店）または土地改良区で手続きができます。貯金通帳及び届出印をご持参の上、「口座振替依頼書」に必要な事項を記入し申し込み下さい。

指定口座に変更が生じた場合

指定口座の名義変更・口座番号の変更等が生じた時は、上記J A窓口または土地改良区へ届出をお願い致します。

振替できなかった場合

残高不足等で口座振替ができなかった場合は、現金で納入する納付書を郵送致します。左記J A窓口または土地改良区で直接納入して頂くことになります。

残高確認について

口座振替日は前期・後期ともに一回限りですので、振替不能とならないよう、口座振替日前日までに必ず貯金残高の確認をお願い致します。

他の納入方法として、**郵便局からの振込も可能**ですのでご希望の方は**総務課賦課徴収係**までお問い合わせ下さい。

☎ 0228-24-7643



領収書の発行について

口座振替の方の領収書につきましては、毎年12月に前期・後期分をまとめて発行しております。この領収書は確定申告等の際に必要となりますので、大切に保管して頂きますようお願い致します。



こんなときは改良区にも届出を!

毎年、
賦課金納入通知書
発行後に

- 「土地の権利移動をした」
- 「土地の面積が違う」
- 「組合員名義が違う」

等の問い合わせが
多数あります。

関係する市町村の農業委員会等への届出、登記が完了しても、

土地改良区への届出がなければ台帳の修正は行われません。

届出用紙は土地改良区に備え付けてあるほか、迫川上流土地改良区のホームページ (<http://www.hakuue.jp>) からダウンロードができます。

迫川上流

検索



- ◆農地を売買または交換並びに贈与したとき
- ◆農地を賃貸借したまたは賃貸借を解除したとき
- ◆農業者年金の受給または後継者へ経営を移譲したとき
- ◆組合員の方が亡くなったとき
- ◆住所を変更したとき



とくそう
『組合員資格得喪通知書』
での届出が必要です

- ◆農地を宅地等に転用するとき
- ◆畑等に地目変更するとき
- ◆公共事業等で農地が買収されたとき



『農地転用等の通知書』
『地区除外申請書』
での届出が必要です



地区除外決済金の納入も必要となります。

～土地改良法 第43条～
(組合員の資格得喪の通知義務)
土地改良区の地区内の土地の全部又は一部について組合員たる資格を取得し、又は喪失した者がある場合には、その者は、その旨をその土地改良区に通知しなければならない。

地区除外決済金とは

県営かんがい排水事業や、ほ場整備事業などの土地改良事業の事業費の内、地元負担分は借入金（賦課金）によってまかなわれており、毎年組合員皆さんから賦課金として納入頂いています。

農地の転用、公共用地買収などにより地区除外されると、その土地の償還金や維持管理費等を残った土地で負担しなければならなくなり、残りの組合員の方々の負担増となってしまいます。

それらを解消するため、その土地の負担相当分（これから支払うべき償還金等）を決済の対象とし、決済金を徴収することになっています。

平成29年度の決済金額

決済金種別	1,000㎡当り
県営かん排迫川上流地区(三迫川沿岸地区)	850円
県営かん排迫川上流3期地区(一迫川沿岸地区)	9,580円
川南地区県営ほ場整備	4,360円
県営かん排迫川上流地区(石越地区)	5,730円
県営かん排石越南部地区	1,560円
県営石越南部地区ほ場整備	10,600円
県営石越北部地区ほ場整備	17,690円
県営南谷地地区ほ場整備	2,260円
石越地区維持管理(ほ場整備区域) 田	34,000円
石越地区維持管理(ほ場整備区域) 畑	6,800円
石越地区維持管理(ほ場整備区域外) 田	13,600円
石越地区維持管理(ほ場整備区域外) 畑	2,720円



この決済金を納入しないと、いつまでも従前の面積のまま賦課されることとなりますので、ご注意ください。



滞納賦課金は新組合員の負担になります!!

滞納賦課金は土地改良法第42条(権利義務の承継)の規定に基づき、農地を取得した新組合員に支払の義務が生じます。

農地の売買等の契約をされる場合は、滞納賦課金があるかを確認し、後で問題が起きないように互いに十分話し合ってください。

滞納処分(財産差押え)の実施

賦課金の滞納は土地改良法に基づき、地方税の滞納処分の例により認可を受けて理事が処分執行することになります。納入が滞ってしまうと滞納額が大きくなり一度に支払うことが困難となり、改良区の業務運営等にも支障を来すことになります。

滞納者には電話連絡・戸別訪問を行いながら納入の督促をしておりますが、それでも難しい場合は、やむを得ず財産の差押えに踏み切っております。

納付の相談は土地改良区事務所にて随時対応しておりますので、総務課賦課徴収係までお気軽にご相談下さい。



用水管理について

近年は晩期栽培の定着や作付品種の多様化により、田植えの時期が長くなっています。改良区としては、河川管理者から許可されている 許可水利権以上に取水することは許されません。そのため、組合員皆様のご要望に対して十分お応えできないのが実状です。『水』は、組合員皆さんの財産です。下流末端の方々には毎年用水に苦慮しています。

“田んぼに水を掛け終わったら、必ず水口を閉める”
“用水を掛ける時は、下流にも流れるように調整”
“『無駄な水は流さない』を徹底”

に注意して、ご協力をよろしくお願いいたします。

水利権は厳守します!!



稲刈り後のワラ処理を早めに!

ご協力をお願いします。

台風・ゲリラ豪雨など稲刈り後のワラ処理が遅れると大雨によって増水した水で、用・排水路等にワラが流され、その処理には大変な苦労と経費（排水機場等の故障の原因）を伴います。ワラ処理のご協力をお願いします。

— 大型フリーームの資材提供について —

下記の資材を欲しい方に提供します。

- ◆ 大型フリーーム(旧体) 幅(B) 1,200×高さ(H) 1,300×長さ(L) 2,000 N=125本
- ◆ 保管場所 有賀排水機場(栗原市若柳武鎗地内)
※引き取る際必要書類を提出して頂きます。
※運搬費用は引き取り側の負担となります。

詳しくはこちらまで⇒
事業管理課 事業係 ☎0228-24-7643





ほ場整備した田んぼの管理は適切に!

ほ場整備した水田には暗渠排水が施され、乾田化して作物の収穫をスムーズにするなど多面的な機能を有しております。近年、モミガラ等の腐食により、水田の所々に陥没が出来て用水管理に苦慮している状況です。このモミガラの腐食進行の原因の一つとして、水閘（排水口）の開けっ放しがあります。

秋作業終了後は、モミガラ腐食防止のため暗渠水閘を閉めておき、定期的に開閉し堆積物を流し出すようにしましょう。

維持管理作業(江払い、草刈り等)は誰が担うの?

受委託契約等で耕作者が変わった場合、維持管理を誰が行うのか決めないまま契約行為だけが進んで、誰も農地周辺の維持管理をしない事例が増えております。

このままでは隣接する農地にまで悪影響が及びますので、きちんと取り決めをしましょう。



大雨・河川の増水時は用水を停止します
 大雨や台風等が予想される場合、災害防止の観点から事前に用水を停止しております。雨が止んでも河川の状況や下流部の排水の状況により、すぐには通水できないことがありますのでご理解とご協力をお願いします。

これは自己負担となります!



パイプラインの給水栓、マス等の個人財産に当たる設備を破損させた場合、**補修工事費は自己負担**となりますので農作業の際は十分に注意して、大切に管理するように心がけましょう。

迫川上流地区土地改良区統合整備推進協議会の設立

平成 27 年 12 月 1 日付けで、西向土地改良区（栗駒地区）との合併（吸収）が認可され、その後も真坂土地改良区（一迫地区）の合併（吸収）に向け、継続して進めていた合併推進協議会準備会での課題等の整理・協議がほぼ解決したことにより、去る 5 月 23 日に「**迫川上流地区土地改良区統合整備推進協議会**」を設立いたしました。

現在協議会の中で、合併に係る基本事項の検討を行い「統合整備計画書」を作成し、組合員への周知を図りながら合併予備契約の締結に向けて協議しております。



▲会議の様子

▲会長挨拶

訃 報

元理事 **金 正 氏**
(登米市石越町)
平成二十九年一月十五日逝去(八十三歳)

生前、土地改良区の運営並びに土地改良事業の推進にご尽力賜りましたことに感謝申し上げます、ここに謹んで哀悼の意を表します

水難事故防止にご協力ください!!



近年、老若男女問わず農業用水路・排水路及びため池等への転落による怪我又は死亡事故等が多くなってきております。

事故等の内容によっては訴訟問題となり、施設管理者の責任を問われるケースも起きています。

管理者としても施設の安全管理に努めておりますが、歯止めが利かないのが現状です。

大型機械化による転落事故も増えていることから、地域皆さんでの注意「**危ない!!**」の一声をお願いします。

物損事故は届け出を!

自動車事故等により管理施設を破損した場合は、当事者の負担で復旧することになります。

また、幹線用水路には年間通して用水が流れており、施設の破損状況によっては緊急を要するものもありますので必ず当改良区にご連絡ください。

☎0228-24-7643

注目!

ごみ捨て禁止!

ダメ!

ごみを捨てると法律により処罰されます
5年以下の懲役、若しくは1,000万円以下の罰金



毎年、用水時期になりますと、必ずゴミが流れてきて、水門及びゲート等にたくさんのゴミが溜まり、水の流れが悪くなって、大変困っております。

農業関係者だけでなく、近隣の方々にも声を掛けて“ごみ捨て禁止”にご協力お願い致します。

